

# 第8次保健医療計画の 評価指標進捗状況

令和7年（2025年）1月

熊本県健康福祉部

## 第1節 生活習慣病の発症予防と重症化予防

### 第1項 より良い生活習慣の形成、生活習慣の改善

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	肥満傾向児の割合	小5 13.3% 中2 10.8% (令和4年度)	小5 13.1% 中2 11.5% (令和5年度)	⇒	小5 12% 中2 10% (令和10年度)
②	肥満者(40歳～64歳)の割合	男性40.1% 女性23.7% (令和2年度)	男性40.2% 女性24.0% (令和3年度)	⇒	全国平均以下 (令和8年度)
③	朝ごはんを毎日食べるこどもの割合	3歳児93.9% (令和3年度) 小6 85.3% 中3 80.9% (令和4年度)	3歳児93.8% (令和4年度) 小6 83.3% 中3 81.3% (令和6年度)	⇒	3歳児 100% (令和9年度) 小6 90% 中3 85% (令和10年度)
④	食塩摂取量	9.4g (令和4年度)	(令和10年度把握予定)	—	8.0g (令和10年度)
⑤	野菜摂取量	259.4g (令和4年度)	(令和10年度把握予定)	—	350g (令和10年度)
⑥	1週間の総運動時間420分以上の児童生徒の割合	小5 41.3% 中2 68.4% (令和4年度)	小5 41.5% 中2 70.0% (令和5年度)	⇒	小5 49.0% 中2 75.8% (令和10年度)
⑦	運動習慣のある人の割合	20～64歳男性14.9% 20～64歳女性11.1% 65歳以上男性14.1% 65歳以上女性17.5% (令和4年度)	(令和10年度把握予定)	—	20～64歳男性23.5% 20～64歳女性 16.9% 65歳以上男性 41.9% 65歳以上女性 33.9% (令和10年度)
⑧	睡眠で休養がとれている人の割合	20歳～50歳代67% 60歳以上79.2% (令和4年度)	(令和10年度把握予定)	—	20歳～50歳代72% 60歳以上85% (令和10年度)
⑨	むし歯のない3歳児の割合	83.4% (令和3年度)	85.2% (令和4年度)	↗	90% (令和9年度)
⑩	むし歯のない12歳児の割合	72% (令和4年度)	72.2% (令和5年度)	⇒	75% (令和10年度)
⑪	進行した歯周病を有する人の割合	40歳 55% 50歳 70.9% 60歳 67.2% (令和3年度)	(令和10年度把握予定)	—	40歳 50% 50歳 63% 60歳 60% (令和9年度)

# 第1項 より良い生活習慣の形成、生活習慣の改善

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
⑫	20歳未満の喫煙割合（「今までに一口でもタバコを吸ったことがある」と答えた児童生徒の割合）	小学5・6年生2.3% 中学生 1.9% 高校生 2.8% （平成30年度）	小学5・6年生1.7% 中学生 0.7% 高校生 0.8% （令和5年度）	↗	0% （令和10年度）
⑬	20歳未満の飲酒割合（「今までにアルコールを少しでも飲んだことがある」と答えた児童生徒の割合）	小学5・6年生31% 中学生 29% 高校生 36.4% （平成30年度）	小学5・6年生24.2% 中学生 17.8% 高校生 20.9% （令和5年度）	↗	0% （令和10年度）
⑭	20歳以上の喫煙率（やめたい人がやめる）	13.1% （令和4年度）	（令和10年度把握予定）	—	10% （令和10年度）

# 第2項 生活習慣病の早期発見・対策

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	特定健康診査の実施率	54.1% （令和3年度）	54.0% （令和4年度）	⇒	70% （令和9年度）
②	特定保健指導の実施率	38.3% （令和3年度）	40.7% （令和4年度）	↗	45% （令和9年度）
③	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率（対平成20年度比）	14.4% （令和3年度）	15.5% （令和4年度）	↗	25% （令和9年度）

## 第2節 生活機能の維持・向上

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	低栄養傾向(BMI20未満)の高齢者(65~74歳)の割合	15.5% (令和2年度)	15.8% (令和3年度)	⇒	13% (令和8年度)
②	運動習慣のある人の割合(65歳以上)	男性 14.1% 女性 17.5% (令和4年度)	(令和10年度把握予定)	—	男性 41.9% 女性 33.9% (令和10年度)

## 第3節 社会環境の質の向上

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	「くま食健康マイスター店」指定数	120店舗 (令和4年度)	177店舗 (令和5年度)	↗	500店舗 (令和10年度)
②	望まない受動喫煙の機会を有する人の割合(1か月以内に受動喫煙があった人の割合)	家庭 11.5% 職場 18.5% 飲食店 8.8% (令和4年度)	(令和10年度把握予定)	—	望まない受動喫煙のない社会の実現 (令和10年度)
③	「健康経営優良法人認定」事業所数	227団体 (令和5年)	272団体 (令和6年)	↗	530団体 (令和11年)
④	くまもとスマートライフプロジェクト応援団登録数	2,301団体 (令和5年12月)	2,604団体 (令和6年12月)	↗	2,800団体 (令和10年度)
⑤	健康増進計画策定市町村数	40市町村 (令和5年1月)	40市町村 (令和7年1月)	⇒	45市町村 (令和11年1月)

# 第3章 地域でいつまでも安心して暮らせる保健医療の提供

## 第1節 住民・患者の立場に立った保健医療施策の推進

### 第2項 外来医療に係る医療提供体制の確保

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	外来機能報告の報告率	—	98.8% (令和5年度)	↗	100% (令和11年度)
②	医療機器共同利用を行った二次保健医療圏数	—	全二次保健医療圏 (令和5年度)	↗	全二次保健医療圏 (令和11年度)
③	地域で不足する医療機能を担う意向を示した新規開業者の割合	—	95.0% (令和5年度)	↗	100% (令和11年度)

### 第3項 医療情報の提供・ネットワーク化

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	「くまもとメディカルネットワーク」に参加している県民数	107,811人 (令和5年10月)	139,038人 (令和6年12月)	↗	300,000人 (令和12年3月)

### 第4項 医療安全対策

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	医療安全管理者を配置している病院の割合	85.2% (令和5年4月)	(令和6年度中に把握予定)	—	100% (令和11年4月)
②	医療安全相談窓口を設置している病院の割合	95.6% (令和5年4月)	(令和6年度中に把握予定)	—	100% (令和11年4月)
③	厚生労働省(医療安全支援センター総合支援事業)が実施する研修を受講した相談職員数の割合	50% (令和5年度)	(令和6年度中に把握予定)	—	100% (令和11年度)

## 第5項 人権に配慮した保健医療

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	「ハンセン病に対する偏見や差別を持たない」と考える県民の割合	55.4% (令和4年度)	54.8% (令和5年度)	↘	70% (令和11年度)
②	「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」を知っている県民の割合	49.4% (令和4年度)	49.1% (令和5年度)	⇒	55% (令和11年度)

## 第6項 移植医療

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	健康保険証、運転免許証、マイナンバーカードなどの臓器提供意思表示欄への臓器提供に係る意思表示の記入率	11% (令和4年11月)	(令和10年度把握予定)	—	12.7% (令和11年度)
②	角膜提供者数	平均9.8件/年 (平成29年～令和4年)	7件 (令和6年11月末現在)	—	平均12件/年 (令和6年～令和11年)
③	臓器移植院内コーディネーター研修の受講率	26.6% (令和4年度)	18% (令和5年度)	↘	50% (令和11年度)
④	ドナー助成事業を導入している市町村数	10市町村 (令和4年度)	15市町村 (令和6年11月末時点)	↗	20市町村 (令和11年度)

## 第7項 血液の確保

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	若年層の献血率	5.8% (令和4年12月)	5.6% (令和6年3月)	⇒	6.7% (令和12年3月)

## 第2節 疾病に応じた保健医療施策の推進

### 第1項 がん

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	がん検診受診率	胃がん 男性50.6% 胃がん 女性42.9% 肺がん 男性54.7% 肺がん 女性51.1% 大腸がん 男性51.3% 大腸がん 女性45.1% 子宮頸がん 女性47.5% 乳がん 女性51.4% (令和4年)	(令和8年把握予定)	—	全項目60%以上 (令和10年)
②	精密検査受診率	胃がん 82.4% 肺がん 82.1% 大腸がん 75.4% 子宮頸がん 86.1% 乳がん 87.4% (令和2年度)	胃がん 83.2% 肺がん 83.2% 大腸がん 75.4% 子宮頸がん 87.8% 乳がん 91.0% (令和3年度)	↗	全項目90%以上 (令和9年度)
③	がん診療連携拠点病院における緩和ケア研修を受講した医師の割合	国指定がん診療連携拠点病院86% 県指定がん診療連携拠点病院76% (令和5年)	・国指定がん診療連携拠点病院 87.1% ・県指定がん診療連携拠点病院 84.3% (令和6年)	↗	国指定がん診療連携拠点病院90%以上 県指定がん診療連携拠点病院80%以上 (令和11年)
④	がん相談支援センターにおける相談件数	15,214件 (令和4年)	18,640件 (令和5年)	↗	20,000件 (令和10年)
⑤	「私のカルテ」新規年間導入件数	622件 (令和4年度)	594件 (令和5年度)	↘	1,000件 (令和11年度)

## 第2項 脳卒中

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	脳血管疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)	男性85.2 (全国93.8) 女性51.2 (全国56.4) (令和2年)	男性85.4 (全国92.6) 女性50.3 (全国57.3) (令和4年)	⇒	男性68 女性41 (令和7年)
②	脳血管リハビリテーション実施件数が全国平均以上の二次保健医療圏の数	6医療圏 (令和2年)	6医療圏 (令和3年)	⇒	10医療圏 (令和11年)
③	在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合	県51.7% (全国55.2%) (令和2年)	(令和6年度中に把握予定)	—	全国平均以上 (令和11年)

## 第3項 心筋梗塞等の心血管疾患

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	虚血性心疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)	男性33.9 (全国73.0) 女性15.7 (全国30.2) (令和2年)	男性30.7 (全国76.4) 女性15.1 (全国31.3) (令和4年)	↗	男性25.0 女性11.0 (令和7年)
②	心不全の年齢調整死亡率(人口10万対)	男性54.4 (全国69.0) 女性40.5 (全国48.9) (令和2年)	男性62.0 (全国72.1) 女性58.2 (全国57.5) (令和4年)	↘	男性54.0 女性40.0 (令和7年)
③	大動脈瘤及び解離の年齢調整死亡率(人口10万対)	男性18.8 (全国17.1) 女性11.5 (全国10.6) (令和2年)	男性18.7 (全国17.5) 女性12.4 (全国11.0) (令和4年)	⇒	男性17.0 女性10.0 (令和11年)
④	外来心大血管疾患リハビリテーション実施件数(SCR)	78.3 (全国100) (令和2年)	86.4 (令和3年)	↗	100以上 (令和11年)
⑤	在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患患者の割合	県92.1% (全国93.3%) (令和2年)	(令和6年度中に把握予定)	—	全国平均以上 (令和11年)

# 第4項 糖尿病

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	特定健康診査受診者のうち、空腹時血糖100mg/dL以上の割合	37.6% (全国平均33.8%) (令和2年度)	37.9% (全国平均33.8%) (令和3年度)	⇒	全国平均以下 (令和8年度)
②	特定健康診査受診者のうち、HbA1c5.6%以上の割合	61.9% (全国平均47.2%) (令和2年度)	62.2% (全国平均47.8%) (令和3年度)	⇒	全国平均以下 (令和8年度)
③	特定健康診査受診者のうち、HbA1c6.5%以上の割合	8.9% (全国平均7.3%) (令和2年度)	9.0% (全国平均7.2%) (令和3年度)	⇒	全国平均以下 (令和8年度)
④	特定健康診査受診者のうち、HbA1c8.0%以上の割合	1.49% (全国平均1.46%) (令和2年度)	1.44% (全国平均1.34%) (令和3年度)	⇒	全国平均以下 (令和8年度)
⑤	糖尿病性腎症に対する新規人工透析導入患者数	203人 (令和元年～令和3年の平均)	202人 (令和2年～令和4年の平均)	↗	200人以下 (令和8年)
⑥	糖尿病専門医数	105人 (令和5年6月)	105人 (令和6年6月)	⇒	増加
⑦	糖尿病連携医数	84人 (令和5年4月)	85人 (令和6年4月)	↗	増加
⑧	熊本地域糖尿病療養指導士数	630人 (令和5年4月)	508人 (令和6年4月)	↘	増加

## 第5項 精神疾患

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	入院後3か月時点の退院率	51.6% (令和4年6月)	53.2% (令和5年6月)	↗	68.9% (令和8年6月)
②	入院後6か月時点の退院率	76.7% (令和4年6月)	77% (令和5年6月)	⇒	84.5% (令和8年6月)
③	入院後1年時点の退院率	84.9% (令和4年6月)	84.1% (令和5年6月)	↘	91.0% (令和8年6月)
④	慢性期入院者数 (65歳以上)	3,503人 (令和4年6月)	3,360人 (令和5年6月)	↗	2,524人 (令和8年6月)
⑤	慢性期入院者数 (65歳未満)	1,215人 (令和4年6月)	1,165人 (令和5年6月)	↗	939人 (令和8年6月)
⑥	退院後1年以内の地域での 平均生活日数	306日 (令和4年6月)	306日 (令和5年6月)	⇒	326日 (令和8年6月)
⑦	かかりつけ医等の心の健康対 応力向上研修の受講者数	700人 (令和5年3月)	750人 (令和6年3月)	↗	1,000人 (令和11年3月)
⑧	自殺死亡率(人口10万対)	18.5人/年 (令和5年3月)	16.1人/年 (令和6年3月)	↗	13.0人/年 (令和9年3月)

## 第6項 認知症

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	認知症疾患医療センターの 外来新患数(実数)及び 相談件数	15,230件 (令和4年度)	15,106件 (令和5年度)	↘	16,300件 (令和11年度)
②	認知症サポート医養成研修 修了者数(累計)	285人 (令和4年度)	305人 (令和5年度)	↗	393人 (令和11年度)
③	認知症初期集中支援チーム の年間訪問実人数	252人 (令和3年度)	252人 (令和4年度)	⇒	392人 (令和11年度)
④	かかりつけ医認知症対応力 向上研修修了者数(累計)	1,377人 (令和4年度)	1,423人 (令和5年度)	↗	1,917人 (令和11年度)
⑤	市町村の若年性認知症に 関する相談窓口設置数	16か所 (令和4年度)	18か所 (令和5年度)	↗	45か所 (令和11年度)

## 第7項 難病

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	指定医療機関の指定数	1,305機関 (内訳)病院・診療所 648 薬局 499 指定訪問看護事業者等 158 (令和5年8月)	1,427機関 (内訳)病院・診療所709 薬局524 指定訪問看護事業所等 194 (令和6年12月)	↗	増加 (令和11年)
②	患者交流会の開催回数	14回/年 (令和4年度)	18回/年 (令和6年度見込み)	↗	15回/年以上 (令和11年度)

## 第8項 アレルギー疾患

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	連携病院の選定	2か所 (令和5年度)	2か所 (令和6年度)	⇒	増加 (令和11年度)
②	・医療従事者等を対象とした 研修会への参加者数 ・地域の保健師や教育、保育 現場に携わる関係者を対象と した研修会への参加者数	第1回:37人 第2回:47人 (令和5年度)	第1回61人 (令和6年度)	↘	100人以上/年 (令和11年度)

## 第1項 在宅医療

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	自圏域内における在宅医療の自己完結率	85.6% (令和4年度)	(令和6年度中に把握予定)	—	90% (令和11年度)
②	訪問診療実施医療機関数 (推計値)	497か所 (令和4年度)	(令和6年度中に把握予定)	—	562か所 (令和11年度)
③	入退院支援加算を届け出ている医療機関数	131か所 (令和5年4月)	131か所 (令和6年4月)	⇒	144か所 (令和11年度)
④	訪問診療を受けた患者数 (推計値)	10,504人 (令和4年度)	(令和6年度中に把握予定)	—	16,714人 (令和11年度)
⑤	24時間体制をとっている訪問看護ステーション数	292か所 (令和5年4月)	321か所 (令和6年4月)	↗	457か所 (令和11年度)
⑥	看取り加算を算定した医療機関数	137か所 (令和4年度)	(令和6年度中に把握予定)	—	155か所 (令和11年度)
⑦	在宅医療の認知度 (県民の意識調査)	64.3% (令和4年12月)	(令和10年度把握予定)	—	80% (令和11年度)
⑧	在宅訪問に参画している薬局の割合	45.3% (令和4年度)	49.0% (令和5年度)	↗	60% (令和11年度)
⑨	24時間対応可能な薬局数	210か所 (令和4年度)	(令和6年度中に把握予定)	—	292か所 (令和11年度)

## 第2項 救急医療

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	心肺機能停止傷病者の1か月後の生存率	12.1% (全国平均12.9%) (平成29年から令和3年までの平均)	(令和6年度中に把握予定)	—	12.9%以上 (令和6年から令和11年までの平均)
②	救急車により救急搬送された患者のうち、入院加療を必要としない軽症者の割合	33.4% (全国平均44.8%) (令和3年)	34.0% (全国平均47.3%) (令和4年)	↘	33.4%以下 (令和11年)
③	救急要請(入電)から救急医療機関への搬送(医師引継ぎ)までに要した平均時間	39.7分 (全国平均42.8分) (令和3年)	42.6分 (全国平均47.2分) (令和4年)	↘	39.7分以下 (令和11年)

## 第3項 災害医療

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	被災した状況を想定した、県保健医療調整部門と関係機関等との実動訓練の実施回数	0回 (令和3年)	1回 (令和6年)	↗	毎年1回 (令和11年)
②	DMATのチーム数	35チーム (令和4年)	38チーム (令和6年9月)	↗	45チーム (令和11年)
③	被災した状況を想定した災害実動訓練を実施した災害拠点病院の割合	86.7% (令和5年)	86.7% (令和6年)	⇒	100% (令和11年)
④	病院における業務継続計画の策定率	53.8% (令和3年)	77% (令和5年)	↗	100% (令和11年)
⑤	EMISの操作を含む研修・訓練に参加している病院の割合	93.3% (令和4年)	84.6% (令和5年)	↘	100% (令和11年)
⑥	DPATのチーム数	22チーム (令和5年)	22チーム (令和6年9月)	⇒	28チーム (令和11年)

## 第4項 新興感染症発生・まん延時における医療

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	入院確保病床数	—	【流行初期】596床 【初期以降】909床 (令和6年12月1日時点)	↗	【流行初期】428床 【初期以降】1,131床 (令和11年度)
②	発熱外来医療機関数	—	【流行初期】526機関 【初期以降】617機関 (令和6年12月1日時点)	↗	【流行初期】100機関 【初期以降】777機関 (令和11年度)
③	個人防護具を備蓄している医療機関の割合	—	約90.7% (令和6年12月1日時点)	↗	80%以上 (令和11年度)
④	年1回以上、訓練を実施等している医療機関の割合	—	(令和6年度中に把握予定)	—	100% (令和11年度)
⑤	後方支援医療機関数	—	171機関 (令和6年12月1日時点)	↗	120機関 (令和11年度)
⑥	自宅等療養者への医療提供を行う医療機関数	—	1,163機関 (令和6年12月1日時点)	↗	820機関 (令和11年度)
⑦	高齢者施設等への医療提供を行う医療機関数	—	1,015機関 (令和6年12月1日時点)	↗	390機関 (令和11年度)
⑧	新興感染症発生時の発効協定割合(入院)	—	平時のため、発効なし	—	100%

## 第5項 へき地の医療

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	遠隔医療等ICTを活用した診療を実施しているへき地診療所の割合	62.5% (令和4年度)	62.5% (令和5年度)	⇒	80% (令和11年度)
②	熊本県ドクターバンクによる県内の医師の就職件数(累計)	16件 (令和4年度)	16件 (令和5年度)	⇒	23件 (令和11年度)
③	へき地等で勤務する医師の休暇等に対応する支援制度の要請に対する対応率	—	100% (令和6年度)	↗	100% (令和11年度)

# 第6項 周産期医療

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	低出生体重児出生率	10.0% (全国平均9.4%) (令和3年)	8.8% (令和5年)	↗	9.4%以下 (令和11年)
②	極低出生体重児出生率	1.03% (全国平均0.75%) (令和3年)	0.75% (令和5年)	↗	0.75%以下 (令和11年)
③	妊産婦死亡数	2人 (令和3年)	0人 (令和5年)	↗	0人 (令和11年)
④	周産期死亡率	3.8‰ (全国平均3.2‰) (令和3年)	3.0‰ (令和5年)	↗	3.2‰以下 (令和11年)
⑤	新生児死亡率	1.0‰ (全国平均0.8‰) (令和3年)	0.6‰ (令和5年)	↗	0.8‰以下 (令和11年)
⑥	小児在宅医療支援センターが連携した市町村数	31市町村 (令和4年)	37市町村 (令和5年度)	↗	45市町村 (令和11年)
⑦	産後ケア事業の利用率	0.5% (全国平均6.1%) (令和3年)	4.0% (令和4年)	↗	6.1%以上 (令和11年)
⑧	熊本県災害時小児周産期リエゾンの養成数	産婦人科医7人 小児科医13人 (令和5年4月)	産婦人科医8人 小児科医15人 (令和6年9月)	↗	産婦人科医8人 小児科医14人 (令和11年度)

## 第7項 小児医療（小児救急医療を含む）

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	乳児死亡率	2.2‰ (全国平均1.7‰) (令和3年)	2.6‰ (令和4年)	↘	1.7‰以下 (令和11年)
②	幼児死亡率	0.2‰ (全国平均0.4‰) (令和3年)	0.1‰ (令和4年)	↗	0.2‰以下 (令和11年)
③	小児(15歳未満)の死亡率	0.2‰ (全国平均0.2‰) (令和3年)	0.3‰ (令和4年)	↘	0.2‰以下 (令和11年)
④	子ども医療電話相談の 相談件数	21,789件 (令和4年)	24,711件 (令和5年度)	↗	24,000件 (令和11年)
⑤	小児在宅医療支援センターが 連携した市町村数(再掲)	31市町村 (令和4年)	37市町村 (令和5年度)	↗	45市町村 (令和11年)
⑥	小児救急搬送症例のうち 受入困難事例の割合	受入照会4回以上 1.1% 現場滞在時間30分以上 1.7% (令和3年)	(令和6年度中に把握予定) ※国公表データ	—	受入照会4回以上 1.1%以下 現場滞在時間30分以上 1.7%以下 (令和11年)
⑦	時間外外来受診回数	107,259件 (令和3年)	(令和6年度中に把握予定) ※国公表データ	—	106,000件 (令和11年)
⑧	熊本県災害時小児周産期 リエゾンの養成数(再掲)	産婦人科医7人 小児科医13人 (令和5年4月)	産婦人科医8人 小児科医15人 (令和6年9月現在)	↗	産婦人科医8人 小児科医14人 (令和11年度)

# 第8項 歯科医療保健

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	むし歯のない幼児(3歳児)の割合	83.4% (令和3年度)	85.2% (令和4年度)	↗	90%以上 (令和9年度)
②	むし歯のない12歳児の割合	72% (令和4年度)	72.2% (令和4年度)	⇒	75%以上 (令和10年度)
③	歯周病を有する人の割合	40歳55.0% 60歳67.2% (令和3年度)	(令和10年度把握予定)	—	40歳50%以下 60歳60%以下 (令和9年度)
④	障がい児(者)のむし歯予防や口腔清掃等の知識・技術を習得した職員を有する入所施設の割合	66.2% (令和4年12月)	71.6% (令和6年3月)	↗	87.8% (令和9年3月)
⑤	在宅療養支援歯科診療所数	207施設 (令和5年10月1日)	207施設 (令和6年10月1日)	⇒	250施設 (令和11年度)
⑥	訪問歯科診療を受けた患者数(実人数)	7,286人 (令和4年度)	(令和6年度中に把握予定)	—	8,400人 (令和11年度)
⑦	妊婦の歯科健診受診率	47.6% (令和4年3月)	43.7% (令和7年3月)	↘	増加

## 第9項 母子保健

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	低出生体重児出生率	10.0% (全国9.4%) (令和3年)	8.8% (全国平均 9.7%) (令和5年)	↗	9.4% (令和11年)
②	極低出生体重児出生率	10.3‰ (全国7.5‰) (令和3年)	7.5‰ (全国平均7.5‰) (令和5年)	↗	7.5‰ (令和11年)
③	育てにくさを感じたときに、相談先などの解決方法を知っている割合(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児健診の平均値)	83.4% (全国80.9%) (令和3年度)	78.5% (全国80.1%) (令和4年度)	↘	増加 (令和11年度)
④	10歳代の人工妊娠中絶率	3.9‰ (全国3.3‰) (令和3年度)	4.0‰ (全国3.6‰) (令和4年度)	↘	3.3‰ (令和11年度)
⑤	産後ケア事業の利用率	0.5% (全国6.1%) (令和3年度)	4.0% (全国10.9%) (令和4年度)	↗	6.1% (令和11年度)

## 第10項 高齢者保健医療福祉（介護保険含む）

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	訪問診療実施医療機関数 (推計値)	497か所 (令和4年度)	(令和6年度中に把握予定)	—	562か所 (令和11年度)

## 第11項 障がい保健医療福祉

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	かかりつけ医等発達障がい対応力向上研修の受講者数	227人 (令和4年度)	324人 (令和6年度)	↗	451人 (令和11年度)
②	医療的ケア児等コーディネーター配置市町村数	4市町村 (令和4年度)	17市町村 (令和5年度)	↗	45市町村 (令和8年度)

# 第4章 地域の保健医療を支える人材の確保・育成

## 第1節 医師

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	自治医科大学卒業医師、医師修学資金貸与医師及びネットワーク推進医の地域の医療機関への配置人数	72人 (令和5年度)	70人 (令和6年度)	⇓	80人 (令和11年度)
②	医師少数区域経験認定医師数(累計)	37人 (令和5年度)	48人 (令和6年度)	↗	100人 (令和11年度)
③	初期臨床研修医のマッチング率	69.9% (令和5年度)	76.3% (令和6年度)	↗	全国平均値以上 (令和11年度)
④	県内の産婦人科専門研修プログラム専攻医師数(累計)	27人 (平成30年から令和5年)	6人 (令和6年)	↗	30人 (令和6年から令和11年)

## 第2節 歯科医師

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	かかりつけ歯科医療機関(歯科医)を決めている県民の割合	73% (R4年度)	(令和10年度把握予定)	—	80% (令和11年度)
②	障がい児(者)歯科登録歯科医師数	—	23人 (令和5年度)	↗	110人 (令和11年度)

## 第3節 薬剤師

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	県内に勤務する薬剤師数	3,869人 (令和2年12月)	3,847人 (令和4年12月)	⇓	4,623人 (令和11年)
②	資質向上研修会(健康サポート薬局に係る研修等)の参加者数	1,410人 (令和4年度)	1,833人 (令和5年度)	↗	2,000人 (令和11年度)

## 第4節 保健師・助産師・看護師・准看護師

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	県内出身看護学生の 県内就業率	75.2% (令和5年3月卒)	73.8% (令和6年3月卒)	↘	80% (令和12年3月卒)
②	病院新卒常勤者離職率	8.6% (令和3年度)	12.2% (令和4年度)	↘	全国平均を下回る数値を 維持
③	ナースセンターによる 再就業者数	483人 (令和4年度)	427人 (令和5年度)	↘	620人 (令和11年度)
④	プラチナナースの従事者数	9,670人 (令和4年度)	(令和7年度把握予定)	—	11,000人 (令和11年度)
⑤	24時間対応をとっている 訪問看護ステーション数	292か所 (令和5年度)	321か所 (令和6年4月)	↗	457か所 (令和11年度)
⑥	専門看護師数	18人 (令和5年7月)	25人 (令和6年12月)	↗	30人 (令和12年3月)
⑦	認定看護師数	364人 (令和5年7月)	305人 (令和6年12月)	↘	450人 (令和12年3月)
⑧	認定看護管理者数	65人 (令和5年7月)	75人 (令和6年12月)	↗	200人 (令和12年3月)
⑨	特定行為研修受講者数	61人 (令和4年12月)	67人 (令和5年12月)	↗	100人 (令和12年3月)
⑩	特定行為指定研修機関数	5機関 (令和5年度)	6機関 (令和6年度)	↗	6機関 (令和11年度)
⑪	災害支援ナースの登録者数	—	205人 (令和6年4月)	↗	320人 (令和11年度)

## 第5節 管理栄養士・栄養士

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	市町村管理栄養士・栄養士の配置	86.4% (令和5年度)	86.4% (令和6年度)	⇒	100% (令和11年度)
②	特定給食施設の管理栄養士・栄養士配置率(学校・病院・介護老人保健施設、介護医療院を除く)	79.3% (令和4年度)	78.3% (令和5年度)	⇩	85%以上 (令和10年度)

## 第6節 歯科衛生士・歯科技工士

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	県内就業歯科衛生士数	2,600人 (令和2年度)	2,677人 (令和4年度)	↗	3,000人 (令和10年度)
②	かかりつけ歯科医療機関(歯科医)を決めている県民の割合	73% (令和4年度)	(令和10年度把握予定)	-	80% (令和11年度)
③	障がい児(者)歯科登録 歯科衛生士数	-	(令和6年度中に把握予定)	-	165人 (令和11年度)

## 第1節 健康危機管理に関する体制

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	広域的な連携体制確保のための会議の実施回数	-	1回 (令和6年度)	↗	1回以上 (毎年度)
②	地域の連携体制確保のための会議の実施圏域数	-	10圏域 (令和6年度見込み)	↗	10圏域 (毎年度)
③	広域的な連携体制確保のための訓練の実施回数	0回 (令和4年度)	2回 (令和6年度見込み)	↗	1回以上 (毎年度)
④	地域の連携体制確保のための訓練・研修の実施圏域数	0圏域 (令和4年度)	8圏域 (令和6年度) ※災害訓練含む	↗	10圏域 (毎年度)

## 第2節 感染症への対策

### 第1項 感染症対策の推進

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	一・二・三・四類感染症の発生届出数	322件 (令和4年)	309件 (令和5年)	↗	350件以下 (毎年)
②	感染症専門医の人数	20人 (令和4年度)	23人 (令和5年度)	↗	29人 (令和8年度)

## 第2項 結核

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	結核の罹患率 (人口10万対)	8.5 (令和4年)	6.8 (令和5年)	↗	10以下 (令和8年)
②	初診から診断までの期間が 1か月以上の割合	10.5% (令和3年)	19.6% (令和5年)	↘	10%以下 (令和8年)
③	接触者健診の受診率	98.3% (令和3年)	98.9% (令和5年)	↗	100% (令和8年)
④	全結核患者及び潜在性結核感染症の者に対するDOTS実施率	95.9% (令和3年)	100% (令和5年)	↗	95%以上 (令和8年)

## 第3項 エイズ・性感染症・肝炎

番号	指標名	計画策定時	現状	指標の動向	目標
①	HIV感染新規報告件数に 占めるエイズ患者の割合	56.3% (全国28.5%) (令和4年)	58.3% (全国30.3%) (令和5年)	↘	28.5%以下 (令和11年)
②	保健所におけるHIV抗体検査 数	639件 (令和4年)	885件 (令和5年)	↗	1,046件 (令和11年)
③	梅毒の新規報告件数の 前年比増加率	161% (全国166%) (令和4年)	121% (全国113%) (令和5年)	↗	全国平均以下 (令和11年)
④	肝がんの年齢調整罹患率 (人口10万対)	15.3 (全国12.0) (令和元年)	13.0 (全国11.0) (令和2年)	↗	12.6 (令和8年度) <small>※第二次肝炎対策推進計画の目標値</small>
⑤	肝疾患コーディネーター数	483人 (令和5年3月時点)	495人 (令和5年度末時点)	↗	552人 (令和8年度) <small>※第二次肝炎対策推進計画の目標値</small>

## 第1項 食中毒・食品安全

番号	指標名	計画策定時	現状 (次回把握予定時期)	指標の動向	目標
①	監視施設のHACCPに沿った衛生管理の実施率	—	(令和7年度把握予定)	—	80%以上 (令和11年度)
②	食品の安全(食中毒)に不安がある県民の割合	17.7% (令和4年度)	22.8% (令和5年度)	↘	前年度より減少 (毎年度)

## 第2項 医薬品等の安全対策

番号	指標名	計画策定時	現状 (次回把握予定時期)	指標の動向	目標
①	かかりつけ薬剤師・薬局を決めている人の割合	49.6% (令和4年度)	(令和9年度把握予定)	—	60% (令和11年度)
②	小中学校・高等学校における薬物乱用防止教室の開催率	99.8% (令和4年度)	96.9% (令和5年度)	↘	100% (令和11年度)

<評価指標の動向(まとめ)>

施策の柱		指標数	前進 ➡	横ばい ➡	後退 ➡	集計中 —
①	生涯を通じた健康づくり	24	8	8	0	8
②	地域でいつまでも安心して暮らせる保健医療の提供	112	53	21	16	22
③	地域の保健医療を支える人材の確保・育成	24	12	1	7	4
④	地域における健康危機への対応	19	13	0	4	2
	計	179	86	30	27	36